

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	京都光華女子大学
設置者名	学校法人 光華女子学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難	
			全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計			
キャリア形成学部	キャリア形成学科	夜・通信	14	0	6	20	13		
		夜・通信			0	14			
健康科学部	健康栄養学科	夜・通信			0	14			
	看護学科	夜・通信			0	14			
	医療福祉学科	夜・通信			2	16			
	心理学科	夜・通信			0	14			
こども教育学部	こども教育学科	夜・通信			0	0		14	
(備考)									

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<a href="https://www.koka.ac.jp/introduction/publish.html">https://www.koka.ac.jp/introduction/publish.html</a> ※項目の「授業」の、【授業科目、授業の方法・内容、年間授業計画（シラバス検索）】より検索
---

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	京都光華女子大学
設置者名	学校法人光華女子学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<a href="https://gakuen.koka.ac.jp/wpgakuen/wp-content/uploads/2021/04/2021%E5%B9%B4%E5%BA%A6%E3%80%80%E5%BD%B9%E5%93%A1%E5%90%8D%E7%B0%BF4%E6%9C%881%E6%97%A5%E7%8F%BE%E5%9C%A8_20210422.pdf">https://gakuen.koka.ac.jp/wpgakuen/wp-content/uploads/2021/04/2021%E5%B9%B4%E5%BA%A6%E3%80%80%E5%BD%B9%E5%93%A1%E5%90%8D%E7%B0%BF4%E6%9C%881%E6%97%A5%E7%8F%BE%E5%9C%A8_20210422.pdf</a>
---

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	(現) 住職	2019. 6. 1 ~ 2023. 5. 31	建学の精神浸透
非常勤	(現) NPO 法人理事長	2017. 10. 1 ~ 2021. 9. 30	渉外 (保護者会・同窓会 含む)
非常勤	(現) 企業顧問	2018. 4. 1 ~ 2022. 3. 31	学園広報
非常勤	(現) 学校法人理事長	2019. 6. 1 ~ 2023. 5. 31	情報収集発信
非常勤	(現) 衆議院議員	2020. 4. 1 ~ 2024. 3. 31	情報収集発信
非常勤	(現) 医師・大学教授	2018. 6. 1 ~ 2022. 5. 31	情報収集発信
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	京都光華女子大学
設置者名	学校法人 光華女子学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>例年7月頃、教務委員会にて、事務局より、各教務委員へ、次年度のシラバスの作成スケジュールの確認等を行い、「シラバス作成要綱」、「シラバス作成見本」、「学士課程の質保証のための指導の精緻化と評価の厳格化」の資料を基に以下スケジュールにてシラバス作成を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・シラバス作成：12月初旬～1月初旬</li> <li>・各学科の学科長を中心に、それぞれ教員が作成したシラバスのチェック：1月下旬～2月上旬</li> <li>・シラバス公表：3月中・下旬頃</li> </ul>	
授業計画書の公表方法	<p><a href="https://www.koka.ac.jp/introduction/publish.html">https://www.koka.ac.jp/introduction/publish.html</a></p> <p>※項目の「授業」の、【授業科目、授業の方法・内容、年間授業計画（シラバス検索）】</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>シラバス作成要綱に則り、成績を具体的に評価する手段・方法（授業への参加度、レポート、定期試験等）、その割合をシラバスに入力することとし、かつ、成績評価方法について、それらの項目を評価する観点や、基準を基に成績評価を行う。</p> <p>また、「学士課程の質保証のための指導の精緻化と評価の厳格化」に基づき、厳格かつ適正に単位授与を実施している。</p> <p>学習意欲の把握として、ディプロマポリシー・ルーブリック（以下「DPルーブリック」）を活用している。ディプロマポリシーの各項目の達成水準を0から4の5段階に設定したDPルーブリックを作成し、学生のDP達成度に関する自己評価データを収集し、学科の人材養成目標の達成状況を把握している。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)  成績評価の指標は「学習の成果に係る評価」の成績・GP (Grade Point) と同じである。適正な成績評価が行われているかを検証する取組みとして、毎年度2回(前期・後期)に学科・学年ごとの成績分布(秀・優・良・可・不可)の割合を算出し、FD委員会にて報告し、各学科にて成績評価の適切性の検証を実施している。</p> <p>GPA (Grade Point Average) の算出方法  <math display="block">\text{GPA} = \{ (4.0 \times 90 \text{ 点以上相当の修得単位数}) + (3.0 \times 80 \text{ 点以上 } 90 \text{ 点未満相当の修得単位数}) + (2.0 \times 70 \text{ 点以上 } 80 \text{ 点未満相当の修得単位数}) + (1.0 \times 60 \text{ 点以上 } 70 \text{ 点未満相当の修得単位数}) \} \div \text{総履修登録単位数 (「不可」「欠席」の単位数を含む)}</math> (注1) GPA は、小数点第4位を四捨五入し、小数点第3位までの数値で、表示します。  (注2) 「非要卒科目」、履修中止された科目は、計算式に含みません。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>学内にはFD委員会にて各学科のFD担当者へ公表  学外にはホームページにて公開  <a href="https://www.koka.ac.jp/introduction/publish.html">https://www.koka.ac.jp/introduction/publish.html</a>  ※履修のてびき</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)  仏教精神と本学の建学の精神である「真実心=思いやりの心」に基づいた他者と共生できる精神性を養うとともに、女性としての生き方・働き方を確立し、学則に定める卒業要件を満たした者に学位を授与する。</p> <p>◆「卒業要件」  4年以上在学し、下記基準にて、卒業単位数128単位を修得しなければならない。履修した授業科目には試験を実施し、合格した科目には単位を認定する。試験の方法は筆記試験、口述試験、論文考査、実技試験の4種とする。試験の成績は100点を最高とし、60点以上を合格とする。</p> <p>【合格】  秀(90点以上)、  優(89点から80点まで)  良(79点から70点まで)  可(69点から60点まで)</p> <p>【不合格】  不可(0点から59点まで)</p> <p>◆「卒業判定手順」  4年次の後期成績が確定後、2月中旬、教務委員会にて卒業判定会議がなされ、審議及び承認がなされる。最終、翌日の大学運営会議にて審議等を行い、卒業者の確定・承認がなされる。</p>	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p><a href="https://www.koka.ac.jp/admission/wp-content/themes/admission/assets/file/exam/policy.pdf">https://www.koka.ac.jp/admission/wp-content/themes/admission/assets/file/exam/policy.pdf</a></p>

## 様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	京都光華女子大学
設置者名	学校法人 光華女子学園

### 1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	<a href="https://gakuen.koka.ac.jp/wpgakuen/wp-content/uploads/2021/06/2020-kessan.pdf">https://gakuen.koka.ac.jp/wpgakuen/wp-content/uploads/2021/06/2020-kessan.pdf</a>
収支計算書又は損益計算書	<a href="https://gakuen.koka.ac.jp/wpgakuen/wp-content/uploads/2021/06/2020-kessan.pdf">https://gakuen.koka.ac.jp/wpgakuen/wp-content/uploads/2021/06/2020-kessan.pdf</a>
財産目録	<a href="https://gakuen.koka.ac.jp/wpgakuen/wp-content/uploads/2021/06/2020-kessan.pdf">https://gakuen.koka.ac.jp/wpgakuen/wp-content/uploads/2021/06/2020-kessan.pdf</a>
事業報告書	<a href="https://gakuen.koka.ac.jp/wpgakuen/wp-content/uploads/2021/06/2020-kessan.pdf">https://gakuen.koka.ac.jp/wpgakuen/wp-content/uploads/2021/06/2020-kessan.pdf</a>
監事による監査報告(書)	<a href="https://gakuen.koka.ac.jp/wpgakuen/wp-content/uploads/2021/06/2020-kessan.pdf">https://gakuen.koka.ac.jp/wpgakuen/wp-content/uploads/2021/06/2020-kessan.pdf</a>

### 2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称: 2021年度事業計画書 対象年度: 2021年度)
公表方法: <a href="https://gakuen.koka.ac.jp/wpgakuen/wp-content/uploads/2021/05/keikaku_2021.pdf">https://gakuen.koka.ac.jp/wpgakuen/wp-content/uploads/2021/05/keikaku_2021.pdf</a>
中長期計画(名称: The Road to2030-ACT1 対象年度: 2020~2024年度)
公表方法: 毎年制作する「総合案内」に掲載している。各種イベント時に配布すると共に、学園内各所に配架し自由にお持ち帰りいただけるようにしている。

### 3. 教育活動に係る情報

#### (1) 自己点検・評価の結果

公表方法: <a href="https://www.koka.ac.jp/introduction/accreditation.html">https://www.koka.ac.jp/introduction/accreditation.html</a>
---

#### (2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: 京都光華女子大学のホームページにて公開 <a href="https://www.koka.ac.jp/introduction/accreditation.html">https://www.koka.ac.jp/introduction/accreditation.html</a>
--

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名	キャリア形成学部
教育研究上の目的	(公表方法： <a href="https://www.koka.ac.jp/introduction/publish.html">https://www.koka.ac.jp/introduction/publish.html</a> )
(概要)	3つの領域から自由に学ぶ女子大ならではのカリキュラムで、幅広い業種・業界の企業や公務員を目指す。 ① 経営学・商学系 (ビジネス領域) ② 生活学科・観光学系 (ホスピタリティ領域) ③ 公共社会学系 (ソーシャル領域)
卒業の認定に関する方針	(公表方法： <a href="https://www.koka.ac.jp/introduction/publish.html">https://www.koka.ac.jp/introduction/publish.html</a> )
(概要)	女性としての生き方・働き方を確立し、多様な業界・業種で活躍できる就業力を持つ女性として、幅広い知識・多様性の価値の理解、自らの考えを他者に効果的に伝える汎用的能力、学び続ける態度・マネジメント力の志向性、統合的な学習経験と創造的思考力の力を身につけ、学則に定める卒業要件を満たした者に学位を授与する。
教育課程の編成及び実施に関する方針	(公表方法： <a href="https://www.koka.ac.jp/introduction/publish.html">https://www.koka.ac.jp/introduction/publish.html</a> )
(概要)	本学部の人材養成目標及びディプロマポリシーの達成のため、以下の4つに分けてカリキュラムを編成、実施する。 建学の精神教育 ②基礎・教養教育 ③専門基礎教育 ④専門教育
入学者の受入れに関する方針	(公表方法： <a href="https://www.koka.ac.jp/admission/exam/policy.html">https://www.koka.ac.jp/admission/exam/policy.html</a> )
(概要)	本学部では、女性としての生き方・働き方を確立し、多様な業界・業種で活躍できる就業力を持つ女性を育成する。そのため、ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーに定める教育を受けるために必要である、基礎的な知識・技能及び関心・意欲を備えた女性を求めています。このような入学者を適正に選抜するために、教科(国語、英語)の試験、小論文、面接など多様な選抜方法を実施する。

学部等名	健康科学部
教育研究上の目的	(公表方法： <a href="https://www.koka.ac.jp/introduction/publish.html">https://www.koka.ac.jp/introduction/publish.html</a> )
(概要)	全部で4つの学科で構成されており、更にそれぞれの専攻分野で高い専門性を学び国家資格の取得を目指す。 ① 健康栄養学科/管理栄養士専攻 (主な資格：管理栄養士, 栄養士, 栄養教諭1種免許状等) 健康スポーツ栄養専攻 (主な資格：栄養士, 中学・高校教諭1種免許状等) ② 看護学科 (主な資格：看護師, 保健師, 養護教諭1種免許状等) ③ 医療福祉学科/社会福祉専攻 (主な資格：社会福祉士, 精神保健福祉士, 保育士等) 言語聴覚専攻 (主な資格：言語聴覚士) ④ 心理学科 (主な資格：公認心理師, 臨床心理士等) *子供の心のSOSをキャッチ・サポート観点より保育士・保育心理士の養成も実施

<p>卒業の認定に関する方針 (公表方法：<a href="https://www.koka.ac.jp/introduction/publish.html">https://www.koka.ac.jp/introduction/publish.html</a> )</p>
<p>本学部ごと、各専攻分野において専門性を活かしながら女性としての生き方・働き方を確立し、多様な業界・業種で活躍できる就業力を持つ女性として、以下4つの力を身につけ、学則に定める卒業要件を満たした者に学位を授与する。</p> <p>① 社会の多様性に適応する知識・理解②汎用的能力③態度・志向性 ④ 専門分野を通じて統合的な学習経験と創造的思考力</p>
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法：<a href="https://www.koka.ac.jp/introduction/publish.html">https://www.koka.ac.jp/introduction/publish.html</a> )</p>
<p>(概要) 本学部ごと、各専攻分野での人材養成目標及びディプロマポリシーの達成のため、各学科・各専攻ともにいずれも以下同様な方針に基づきカリキュラムを編成、実施する。</p> <p>① 建学の精神教育 ②基礎・教養教育 ③専門基礎教育 ④専門教育</p>
<p>入学者の受入れに関する方針 (公表方法：<a href="https://www.koka.ac.jp/admission/exam/policy.html">https://www.koka.ac.jp/admission/exam/policy.html</a> )</p>
<p>(概要) 本学部では学科ごとの特色を活かしながらより専門的な知識・技術の資質向上を目指し、育成する。そのため、ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーに定める教育を受けるために必要な、次に掲げる基礎的な知識・技能及び関心・意欲を備えた女性を求めている。このような入学者を適正に選抜するために、教科(国語、英語、生物、化学)の試験、小論文、面接など多様な選抜方法を実施する。</p>

<p>学部等名 こども教育学部</p>
<p>教育研究上の目的 (公表方法：<a href="https://www.koka.ac.jp/introduction/publish.html">https://www.koka.ac.jp/introduction/publish.html</a> )</p>
<p>(概要) 総合学園である強みを活かした豊富な現場体験により、子どもの豊かな感性を磨き育む学校教員・保育者を目指します。学校教育コース・幼児教育コースからなり、入学後にコース決定ができ、コース変更も可能である。 学校教育コース…主な資格：小学校教諭一種免許状、幼稚園教諭一種免許状 等 幼児教育コース…主な資格：幼稚園教諭一種免許状、保育士資格 等</p>
<p>卒業の認定に関する方針 (公表方法：<a href="https://www.koka.ac.jp/introduction/publish.html">https://www.koka.ac.jp/introduction/publish.html</a> )</p>
<p>(概要) 学校教育・保育に携わるに相応しい広い視野、柔軟で深い思考力、冷静で筋の通った判断力、更には子どもの成長に資する的確な指導力を身に付け、教員・保育者として主体的に行動できるようになったうえで、学則に定める卒業要件を満たした者に学位を授与する。</p>
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法：<a href="https://www.koka.ac.jp/introduction/publish.html">https://www.koka.ac.jp/introduction/publish.html</a> )</p>
<p>(概要) 本学部の人材養成目標及びディプロマポリシーの達成のため、以下の4つの方針に基づきカリキュラムを編成、実施する。</p> <p>① 建学の精神教育 ②基礎・教養教育 ③専門基礎教育 ④専門教育</p>
<p>入学者の受入れに関する方針</p>

(公表方法： <a href="https://www.koka.ac.jp/admission/exam/policy.html">https://www.koka.ac.jp/admission/exam/policy.html</a> )
(概要) 本学部では、仏教精神による慈しみの心を以て子どもと向き合い、子どもを深く理解してその育ちを指導・支援できる教員・保育者を育成する。そのため、ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーに定める教育を受けるために必要な、次に掲げる基礎的な知識・技能及び関心・意欲を備えた女性を求めている。このような入学者を適正に選抜するために、教科（国語、英語、数学）の試験、小論文、面接など多様な選抜方法を実施する。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法： <a href="https://www.koka.ac.jp/introduction/publish.html">https://www.koka.ac.jp/introduction/publish.html</a>
---

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	3人	—					3人
キャリア形成学部	—	9人	4人	1人	1人	0人	15人
健康科学部	—	26人	18人	18人	7人	0人	69人
こども教育学部	—	7人	9人	2人	0人	0人	18人
その他	—	1人	1人	1人	0人	0人	3人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
1人		183人					184人
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)		公表方法：ホームページおよび、「researchmap」にて公開					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
FD委員会を設置し、教育内容・方法に関する事項、FD研修の企画・実施に関する事項の審議を行っている。							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等

学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
キャリア形成 学部	90人	83人	92.2%	330人	362人	109.7%	若干名	4人
健康科学部	325人	292人	89.8%	1338人	1272人	95.1%	4人	2人
こども教育学 部	80人	42人	52.5%	320人	269人	84.1%	なし	0人
合計	495人	417人	84.2%	1988人	1903人	95.7%	4人	6人

(備考)  
 ※2021年度より、キャリア形成学部は入学定員を90名と変更している。(2020年度までは80名) 収容定員は学年進行していき、最終年度の2024年度に360名となる。  
 ※健康科学部健康栄養学科健康スポーツ栄養専攻の3年次編入学定員(4名)は、収容定員に8名の編入学定員を含んでいる。  
 ※2017年度より、健康科学部看護学科3年次編入学定員枠(10名)を廃止して、入学定員へ振り替え85名と変更している。(入学定員80名→85名) 収容定員は学年進行していき、2020年度340名となる。  
 また、健康科学部心理学科は2021年度より入学定員を60名と変更している。収容定員は学年進行していき、最終年度の2024年度には240名となる。

b. 卒業生数、進学者数、就職者数

学部等名	卒業生数	進学者数		就職者数 (自営業を含む。)	その他
		進学者数	就職者数		
キャリア形成 学部	81人 (100%)	1人 (1.2%)	64人 (79.0%)	16人 (19.8%)	
健康科学部	279人 (100%)	4人 (1.4%)	250人 (89.6%)	25人 (9.0%)	
こども教育学 部	79人 (100%)	1人 (1.3%)	75人 (94.9%)	3人 (3.8%)	
合計	439人 (100%)	6人 (1.3%)	389人 (88.6%)	44人 (10.0%)	

(主な進学先・就職先) (任意記載事項)

(備考)

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数 (任意記載事項)

学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業生数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)

(備考)

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

<p>(概要)</p> <p>例年7月頃、教務委員会にて、事務局より、各教務委員へ、次年度のシラバスの作成スケジュールの確認等を行い、「シラバス作成要綱」、「シラバス作成見本」、「学士の質保証のための指導の精緻化と評価の厳格化」の資料を基に以下スケジュールにてシラバス作成を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・シラバス作成：12月初旬～1月初旬</li> <li>・各学科の学科長を中心に、それぞれ教員が作成したシラバスのチェック ：1月下旬～2月上旬</li> <li>・シラバス公表：3月中・下旬頃</li> </ul>
--

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要)シラバス作成要綱に則り、成績を具体的に評価する手段・方法(授業への参加度、レポート、定期試験等)、その割合をシラバスに入力することとし、かつ、成績評価方法について、それらの項目を評価する観点や、基準を基に成績評価を行う。また、「学士課程の質保証のための指導の精緻化と評価の厳格化」に基づき、厳格かつ適正に単位授与を実施している。

学部名	学科名	卒業に必要となる 単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
キャリア形成学部	キャリア形成学科	128 単位	有	年間 48 単位
健康科学部	健康栄養学科	128 単位	有	年間 48 単位
	看護学科	128 単位	有	年間 48 単位
	医療福祉学科	128 単位	有	年間 48 単位
	心理学科	128 単位	有	年間 48 単位
こども教育学部	こども教育学科	128 単位	有	年間 48 単位
GPAの活用状況 (任意記載事項)		公表方法：履修登録単位上限の緩和※学期 GPA3.3 以上の場合翌学期の履修登録単位上限 4 単位増が可能		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法： <a href="https://www.koka.ac.jp/introduction/publish.html">https://www.koka.ac.jp/introduction/publish.html</a>
---

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

2019 年度以前入学生は以下の授業料となります。

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
キャリア形成学部	キャリア形成学科	948,000 円	250,000 円	176,000 円	施設設備費
健康科学部	健康栄養学科管理栄養士専攻	948,000 円	250,000 円	239,000 円	施設設備費
	健康栄養学科健康スポーツ栄養専攻	948,000 円	250,000 円	239,000 円	施設設備費
	看護学科	1,050,000 円	250,000 円	604,000 円	施設設備費、実験実習料
	心理学科	948,000 円	250,000 円	176,000 円	施設設備費
	医療福祉学科社会福祉専攻	948,000 円	250,000 円	176,000 円	施設設備費
	医療福祉学科言語聴覚専攻	948,000 円	250,000 円	389,000 円	施設設備費、実験実習料
こども教育学部	こども教育学科	948,000 円	250,000 円	200,000 円	施設設備費

2020 年度以降入学生より以下の授業料となります。

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
キャリア形成学部	キャリア形成学科	1,150,000 円	250,000 円		
健康科学部	健康栄養学科管理栄養士専攻	1,200,000 円	250,000 円	50,000 円	実験実習料
	健康栄養学科健康スポーツ栄養専攻	1,200,000 円	250,000 円	20,000 円	実験実習料
	看護学科	1,440,000 円	250,000 円	250,000 円	実験実習料
	心理学科	1,150,000 円	250,000 円		
	医療福祉学科社会福祉専攻	1,150,000 円	250,000 円		
	医療福祉学科言語聴覚専攻	1,220,000 円	250,000 円	180,000 円	実験実習料
こども教育学部	こども教育学科	1,160,000 円	250,000 円		

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
(概要) 本学では「学習ステーション」という、学生の主体的な学習を支援・促進する場を学内に設けている。ここでは、学生の主体的な学習を支援することを目的に、自学習、グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーションなど、自分の学習の目的やスタイルに合わせて学習することが可能である。また、学習アドバイザー（教員）、ピア・サポーター（学生）を配置し、様々な学習支援プログラムを実施する等、学生の学修状況に応じた学習支援を行っている（履修登録相談会、学習相談会、国家試験対策講座等）。加えて、資格取得対策講座や公務員試験対策講座等の正課授業外の学習講座を実施し、学生のキャリア形成に向けて学習支援を行っている。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
(概要) 保健室では、健康診断やけが・疾病の応急処置などを行い、日々の学生生活をサポートしている。また、学校医が健康上の不安やこころの悩みの相談にも対応し、状況に応じて医療機関も紹介している。学生相談室では、専門のカウンセラーが学生の相談に対応している。月2回、精神科医の面接日を設けている他、各種心理テストや箱庭体験会などのイベントも行っている。配慮を要する学生に対しては、「京都光華女子大学障がい学生支援に関するガイドライン」に基づき保健室、学生相談室、学生サポートセンター、学科等が連携し、原則、学生本人の申請により修学機会の確保と質の保証のため合理的配慮を実践している。
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
(概要) 保健室では、健康診断やけが・疾病の応急処置などを行い、日々の学生生活をサポートしている。また、学校医が健康上の不安やこころの悩みの相談にも対応し、状況に応じて医療機関も紹介している。学生相談室では、専門のカウンセラーが学生の相談に対応している。月2回、精神科医の面接日を設けている他、各種心理テストや箱庭体験会などのイベントも行っている。配慮を要する学生に対しては、「京都光華女子大学障がい学生支援に関するガイドライン」に基づき保健室、学生相談室、学生サポートセンター、学科等が連携し、原則、学生本人の申請により修学機会の確保と質の保証のため合理的配慮を実践している。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：<https://www.koka.ac.jp/introduction/education.html>